

○岩手南部森林管理署・遠野支署の「採材現地検討会」に出席しました。

青森事務所では毎年、森林管理署等の採材検討会に参加し、技術指導や情報提供などを行うことで、国有林材を円滑・効果的に活用するよう努めています。令和4年9月28日（水）に岩手県遠野市の一本櫛^{ぶな}国有林で開催された「令和4年度 採材現地検討会」に、青森事務所から2名出席してきました。

当日は曇空のなか、林業関係団体や県・市町村担当者、署管内の林業事業者など総勢70名を超える参加を得て開催され、今回の採材検討会ではカラマツと広葉樹の採材について検討を行いました。遠野支署長の挨拶後、各地域における販売価格など東北の需要動向に関して青森事務所から説明、岩手県森林組合連合会からは木材市況等について情報提供と、現在の需要動向やスギ、カラマツ及び広葉樹ごとの引き合い状況などに関して説明がありました。続いて、署の担当者から事業概要、スギ合板や広葉樹における採材の現状等について説明があり、その後、2本のカラマツと3本の広葉樹を5班に分けて採材方法を検討。各班が検討した結果を発表し、節や曲りの大きさなどの欠点に関して一般材や合板材として許容される限度など意見交換が行われました。また、岩手県森連の担当者からは検討結果を踏まえ、採材に際する留意すべき点等を一本一本丁寧に説明いただいたところです。

青森事務所からは、スギ等針葉樹の一般材、合板材の4m採材の推進や適切な仕訳の徹底と、広葉樹については定尺にこだわらず、節や曲り等の欠点を丁寧に見定め採材仕訳することで、思わぬ高値となるため少量でも低質材にせず、一般材として採材し有利販売するよう説明。併せて、作業日報の電子管理によってボトルネックの解消を行う「生産性向上の取組」に関して協力をお願いしたところです。また、労働災害の防止に努めるよう安全についても説明させていただき、最後に岩手南部森林管理署長から閉会の挨拶で終了しました。

青森事務所では今後も採材検討会や労働災害防止協議会へ積極的に参加し、国有林材の有効な利用と労働安全に貢献して参りたいと考えています。



(カラマツ採材検討の結果を発表)



(広葉樹の採材検討)